※令和４年度以降入学生用

学校番号	1013

令和８年度　看護科

教科	看護科	科目	成人と母子の看護(前期)	単位数	２単位	年次	３年前期
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

病気の予防や治療・ケアについて、特に母性・小児看護学分野について具体的に学び、異なる世代にある人へのかかわり方を考えます。母性各期における母体、胎児の生理的変化について学び、それらの人々にどのように関わってくのかを考えます。基本的な看護技術のほかに、沐浴や調乳などの母性看護実習も行います。
実習への取り組み態度や実技テスト、講義・実習レポートと小テストなどで評価を行います。

2　学習の到達目標

看護を行うために必要な成人・老人および小児を統合的に理解する視点を養う。母子の特質を理解し、妊娠・出産・保育に関する基礎的な知識と技術を学び、身に着ける。
また、日常生活と関連させながら具体的に学習し、異なる世代にある人への関心を高めることができる。新生児・小児のそれぞれの成長過程における健康課題や疾病、生活と人生の質について理解できる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	性と生殖に関わる健康の保持増進、生命の尊重及び人権の擁護について必要な技術と知識を習得している。 意思決定の支援やセルフケアをめざす援助やその根拠を学ぶ。	ライフステージにおける各期の健康問題、周産期の特質を踏まえ、生活と人生の質について思考し、表現できている。 周産期や小児期にまつわる知識をいかし、統合的にアセスメントできる視点を養う。	看護の職業倫理を踏まえて課題を発見し、主体的かつ協働的に解決する力を養う。 看護を行うための基本的態度の育成を図る。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	母子看護概論	1)母子看護の意義、母子の保健と福祉 2)人間の性と繁殖	a:母子の健康生活に影響を及ぼす因子（特に環境問題や家族の問題）について理解できる	筆記テスト	実習レポート、講義レポート	実習、実技テスト
	母性の看護	1)母性各期の特徴 2)性感染症	a:妊娠・分娩・産褥期の母体の生理的変化について理解できる b:胎児の発育課程について理解できる			
	新生児・小児の成長と発達	1)新生児の生理、沐浴・授乳 2)小児の日常生活と保育 3)身の回りの安全、虐待	a:新生児の生理と世話に関する基本的な知識と技術が習得できる c:積極的に実習に参加できる			
	小児看護	1)小児看護の特徴 2)発熱、投薬、予防接種 3)小児の感染症	a:成人と小児の違いを理解した上で、看護を行うための観点を理解できる			

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度